

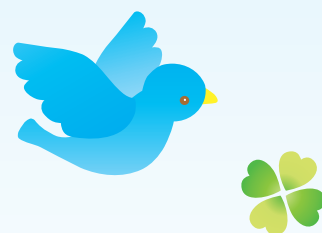
明日の暮らし、ささえあう

CO-OP 共済



事業のご報告
ANNUAL REPORT

2023



日本コープ共済生活協同組合連合会

CO・OP共済のめざすもの

私たちはCO・OP共済によって、組合員相互の助け合いにより、組合員のくらしの中の各種の危険による経済的な損失を保障することを中心にして、組合員のくらしの向上に役立ち、生協の発展、協同組合運動の普及と豊かな社会づくりへの貢献をめざします。

1 CO・OP共済は、組合員のくらしに必要な保障を、より良い内容、より安い掛金で実現します。

- (1) CO・OP共済の開発・改善は、組合員のニーズを最大限に反映してすすめます。
- (2) より安い掛金で質の高い保障内容を追求し、生命・医療分野で組合員に一番に選ばれるCO・OP共済をめざします。

2 CO・OP共済は、共済金の支払いを受けた組合員の声の紹介や、共済の必要性を理解していただくことを通して、協同組合の基本的価値である相互扶助や協同の精神を育みます。

- (1) 多くの組合員に生協の理念と共済の加入を呼びかけて、組合員とのコミュニケーションをはかり、組合員と生協職員との信頼関係を高めます。
- (2) 組合員と職員とのコミュニケーションを促進し、組合員相互の助け合いのこころを育みます。

3 CO・OP共済は、健全で効率的な共済事業の運営と加入者の拡大により生協の社会的信頼を高めます。

- (1) 加入者の信頼にこたえるよう、安定的かつ効率的な事業運営をめざします。
- (2) 法令・社会的倫理を遵守し、適正な加入推進をすすめるCO・OP共済のコンプライアンス推進体制を強化していきます。

4 CO・OP共済は、組合員が共済や保険について学び合える機会をつくり、くらしに役立つ保障の選択ができる力を養います。

- (1) 組合員同士が学び合える機会をつくることで、私的保障や社会保障への関心を高めます。
- (2) 保障を中心とした組合員の学び合いをすすめ、くらしに合った適切な選択ができるよう支援します。
- (3) 学び合いが自主的、恒常的にすすめられるよう、生協の組合員や職員のなかにライフプランアドバイザーを育成しそのレベルアップをはかります。

5 CO・OP共済は、少子高齢化、健康、福祉の問題を積極的に受け止め、社会福祉活動・災害時の対応等の社会貢献をおこないます。

- (1) 地震等の異常災害時のお見舞金支払いに備えて継続的に積み立てを行い、全国で支援活動に取り組みます。
- (2) 加入者に対する還元方法の一つとして、事故予防運動や健康増進活動等のサービスを検討、実施します。
- (3) 加入者の理解を得ながら剰余金の一部を財源として社会貢献活動を行っていきます。

組織概要

(2023年3月20日現在)

組織名 ▶ 日本コープ共済生活協同組合連合会

略 称 ▶ コープ共済連／CO・OP共済連

設 立 ▶ 2008年11月5日

会員数 ▶ 361会員

所在地 ▶ 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号



もくじ

ごあいさつ	2
CO・OP共済の加入者数の推移とあゆみ	
CO・OP共済の2030年ビジョン	

1	CO・OP共済とは	6
2	2022年度のトピックス	8
3	2022年度の事業と経営の概況	15
4	CO・OP共済商品の紹介	23
5	CO・OP共済のご加入とお支払い	33
6	組合員の声にもとづく事業運営	35
7	リスク管理・コンプライアンスの取り組み	37
8	組合員・利用者へのサポート	44
9	社会的取り組み	48
10	コープ共済連および子会社の組織概要	62
11	データ編	68
12	参考資料	107
13	CO・OP共済取り扱い会員生協一覧	110
14	用語解説	116

17

本誌について

本誌はCO・OP共済の事業の報告書です。
また、消費生活協同組合法第53条の2にもとづくコープ共済連のディスクロージャー資料です。

団体名称の表記について

コープ共済連は正式名称が「日本コープ共済生活協同組合連合会」、略称が「コープ共済連」「CO・OP共済連」です。日本生協連は正式名称が「日本生活協同組合連合会」、略称が「日本生協連」です。

最新情報につきましては、
CO・OP共済オフィシャルホームページをご覧ください。

<https://coopkyosai.coop>



ごあいさつ

3年を超えるコロナ禍が過ぎ、2023年度、社会はウィズコロナ・アフターコロナに移行しつつあります。2022年度を振り返りますと、年初からの第6波と7月以降の第7波ではかつてない規模で感染が広がり社会に大きな影響を与えました。感染者の爆発的増加は、全国の生協の事業・活動にも大きな影響を及ぼしました。

CO・OP共済で2022年度にお支払いした新型コロナウイルス関連の共済金は810億円となりました。多くの組合員に共済金をお支払いし、暮らしを支えることができた一方、第6波、第7波の感染拡大時にはお問い合わせや共済金のご請求が急増し、コールセンターのつながりにくさ、お支払いの遅延など、組合員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

2022年度は、9月に《たすけあい》大人向けコース・告知緩やかコースが誕生しました。10月には大学生協共済連から共済事業を全部譲受し、当会を元受として学

生総合共済事業・新社会人コースがスタートしています。コープ共済連が元受となることで、学生総合共済は、大学生協のない大学等の学生も加入できるようになったことに加え、卒業後は30歳まで新社会人コースに加入でき、その後は《たすけあい》に移行という若者向けの「切れ目のない」保障が実現できました。新社会人コースと同様にジュニアコースも30歳まで保障が続くため、子どもから若者、シニアまで一生保障できる共済事業となりました。

CO・OP共済の元受加入者は、2022年度末に970万人となりました。多くの組合員の皆さまに安心をお届けするため、商品改定のほかにも、手続きがわかりやすく、より便利でやさしいCO・OP共済を目指します。デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みでは、より組合員に寄り添った便利なシステム開発を進めます。若年層への取り組みという面では、大学生協と地域生協

CO・OP共済の加入者の推移とあゆみ

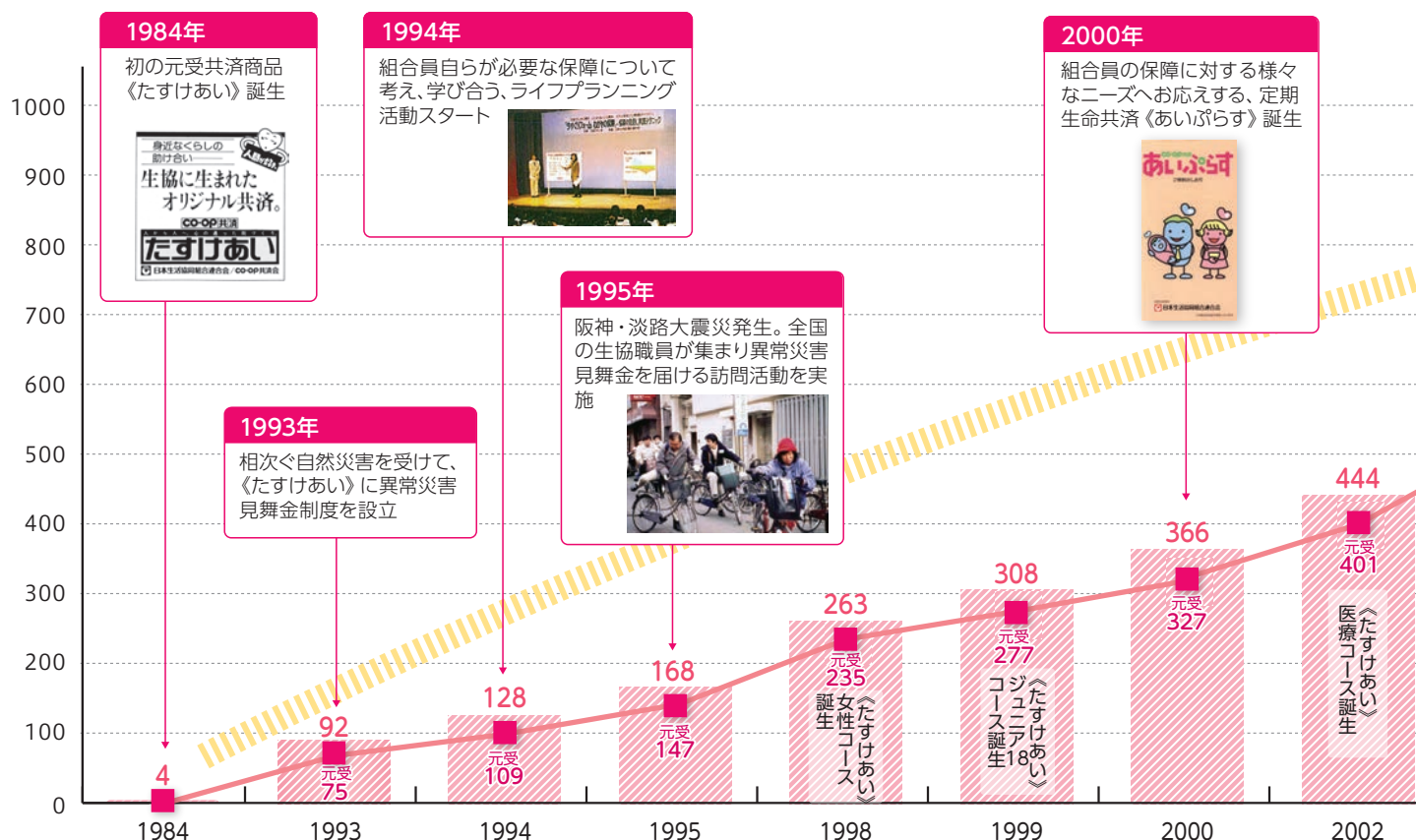
「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれたCO・OP共済は、組合員の声をもとに、商品の見直しを重ね、たすけあいの輪を広げ、加入者数は2022年度末に970万人となりました。

※本冊子では、特にことわりがない場合は「加入者数」は元受共済の加入者数をさします。

▶ CO・OP共済合計／元受共済 加入者数の推移とあゆみ

※本項の「あゆみ」は概要です。詳細は参考資料（P.108-109）をご参照ください。

CO・OP共済合計 元受共済



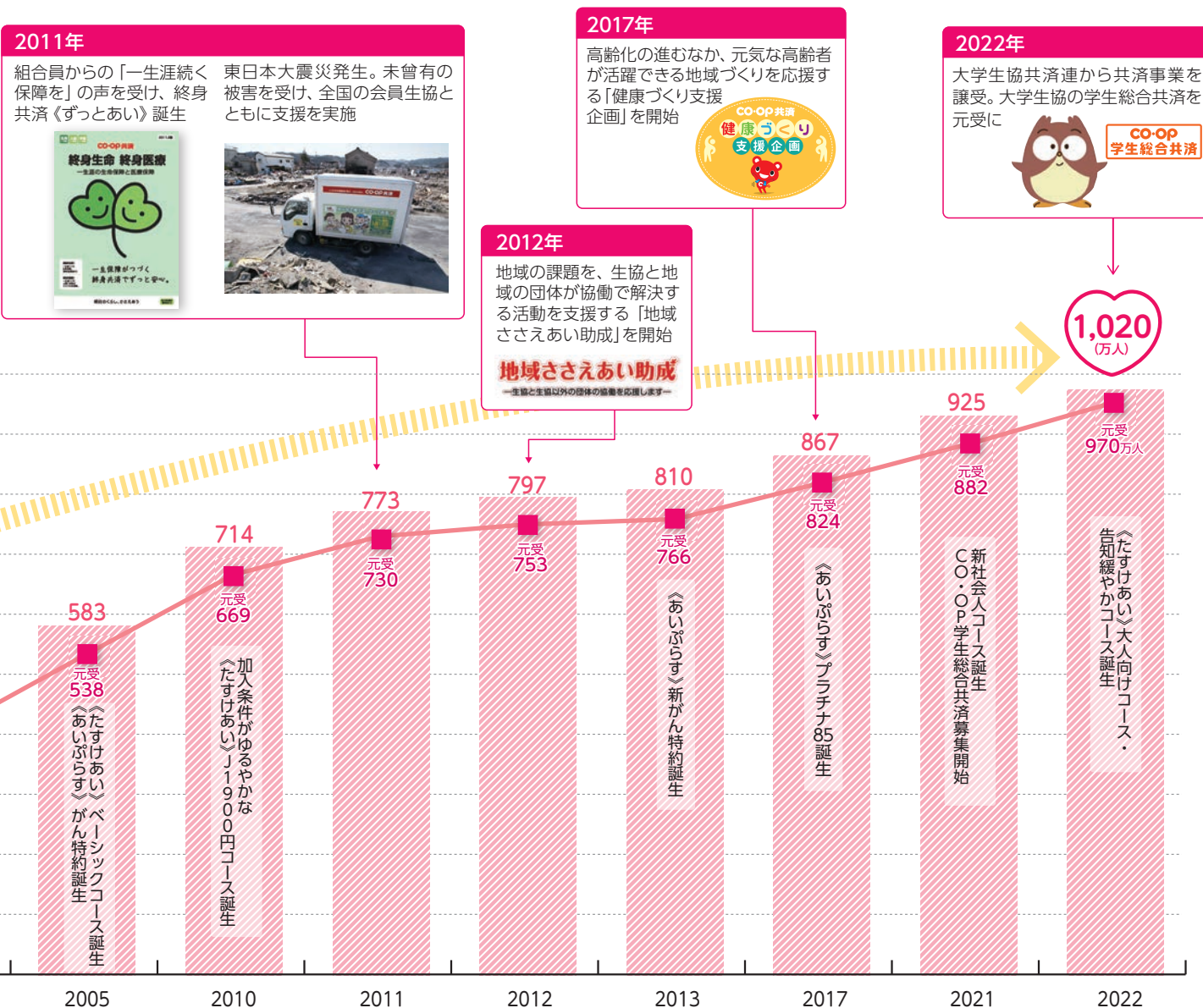
の連携により、若年層のくらしを総合的にサポートし、助け合いの輪を広げてまいります。

世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻からは1年以上が経過し、ウクライナの多くの市民が犠牲となっています。多くのウクライナの街が破壊され、数多くの人権侵害や戦争犯罪が起きています。共済の「助け合い」と戦争は、全く相いれません。戦争の早期終結を願うばかりです。世界各地で分断が進み、貧困や格差が広がっています。こうした状況だからこそ、これまで以上に世界でも日本でも協同組合の役割発揮が必要です。

社会的な課題は増すばかりですが、コープ共済連は全国の会員生協と力を合わせて課題解決に取り組み、組合員が安心してくらせる地域社会づくりに貢献してまいります。今後も、CO・OP共済に対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本コープ共済生活協同組合連合会
代表理事理事長
和田 寿昭



CO・OP共済の2030年ビジョン

CO・OP共済は、これからの10年を考えた新しい長期ビジョン「CO・OP共済2030年ビジョン」を策定しました。生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざというとき役に立つ保障内容、わかりやすい手続き、コスト低減といった改善を常にすすめながら、組合員とその家族に寄り添い役立ち続ける事業と活動を組合員と一緒につくっていきます。

一緒につくる **明日**の暮らし ～CO・OP共済2030～

CO・OP共済はみんなの力でつながり、ささえあい、
組合員と家族によりそい、新しい“たすけあいのかたち”と
よりよい明日の暮らしを一緒につくります。



大切にしたい5つのこと

組合員の参加と共感のエネルギーを
かたちにし、組合員どうしの
たすけあいであるCO・OP共済
の良さや想いをより多くの
組合員・職員に広めること。

参加と
共感

くらしを取り巻く環境が厳しい
からこそ、くらしの安心保障を
提供するCO・OP共済が役立つ
場面が増えること。

特に、女性と子どもの保障
に特徴を持つこと。

くらしへ
貢献

組合員のくらしや環境の変化
をとらえ、役立ち続けられる
ように変わること、チャレン
ジすること。

変化へ
の対応

人口減の中、組合員の地域で
のくらしを守るために、行政や
他団体と連携し地域社会での
役割発揮を高めること。

地域へ
貢献

明日のくらしをつくる安定した事業運営

保険業界の競争激化、IT技術による業界変革、人口減少・少子高齢化による推進へのマイナス圧力に向き合っていく中で変化への対応力を向上させること。



1 たすけあいの仕組みで、生まれる前から 一生涯の保障を提供できる姿 (商品開発課題)

- ①女性と子どもの保障に特徴を持ち、わかりやすく、シンプルな保障に進化します。
- ②学生から新社会人世代へのたすけあいの輪を広げます。
- ③人生100年時代にふさわしい高齢者の保障や健康づくり活動の充実をはかります。
- ④元受共済、受託共済、団体保険などをバランスよく取り扱い、組合員のくらしの総合保障の充実をめざします。

2 たすけあいの輪が広がっている姿 (推進課題と共同事業の課題)

- ①CO・OP共済未加入者へのお知らせと既加入者への対応をすすめます。
- ②年代ごとのおすすめ内容を明確化し、一生涯の保障を提案します。
- ③共済推進スタッフの体制づくり支援と教育研修制度の充実をはかります。
- ④組合員同士の情報発信を広げます。
- ⑤CO・OP共済のブランディングをとおして認知度向上の活動を強化します。

3 組合員自らが「わたしたちの共済」 と思える姿 (組合員の参加と共感を広げる課題)

- ①組合員がCO・OP共済の運営に参加する場を広げます。
- ②共済事業を通じて組合員が社会貢献活動に参加する機会を広げます。
- ③会員生協の組合員活動への支援を強化し、学びあい、たすけあう活動の輪を広げます。

4 便利でやさしさと安心を感じる 手続きができる姿 (CO・OP共済らしい事務構築の課題)

- ①加入や保全*の場面での改善をすすめます。
- ②共済金のお支払いの場面での改善をすすめます。
- ③加入者からの問い合わせ対応や定期的な案内での改善に取り組みます。

*契約変更のお手続き

5 社会的役割発揮や生協事業の総合力発揮に貢献するCO・OP共済事業の姿 (事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題)

- ①くらしやすい地域社会の実現に向けCO・OP共済としての社会貢献活動に参加します。
- ②CO・OP共済のお役立ちの場面をより多角化する検討をすすめます。
- ③会員生協との共同事業と協同組合間協同を深めます。



6 職員がやりがいをもって 生き活きと働いている姿 (CO・OP共済を支える職員の育成課題)

- ①CO・OP共済ファンの職員を増やす取り組み*をすすめます。
- ②共済事業の専門性を高めるとともに、生協の現場を学び提案力を高めます。
- ③働き続けたい職場づくりをすすめます。

*職員間で組合員の声やCO・OP共済のお役立ちなどを共有する取り組み

7 安定した事業運営ができている姿 (事業運営課題)

- ①基幹システムの再構築など、CO・OP共済の事業基盤を強化します。
- ②BCP対策*を継続します。
- ③適切かつ安定的な事業運営を継続します。
- ④加入者が安心して加入し続けられるよう財務の健全性を維持・向上します。

*事業継続計画

1

生協、コープ共済連とは

✳ 生協とは

生協（消費生活協同組合）は、消費者どうしの結びつきによる非営利の協同組合であり、「消費生活協同組合法（略称：生協法）」にもとづいて設立されています。利用者である消費者自身が出資して組合員となり、意思決定や運営に参画して、よりよい暮らしを実現することをめざしています。

宅配や店舗での商品供給、共済、医療、福祉事業や、組合員どうしの助け合い活動、暮らしに関わる学習活動など、幅広く取り組んでいます。



✳ コープ共済連とは

日本コープ共済生活協同組合連合会（略称：コープ共済連）が実施するCO・OP共済事業は、1979年、日本生協連の一事業としてはじまりました。

コープ共済連は、2007年の生協法改正に伴い、2008年11月に、CO・OP共済を取り扱う各地域の生協および日本生協連が共同して設立した共済事業を専業とする全国連合会です。

CO・OP共済を取り扱う各地域・大学の生協（および連合会）と、全国労働者共済生活協同組合連合会（こくみん共済 coop〈全労済〉）、全国大学生生活協同組合連合会（大学生協連）、日本生協連による計357の会員生協で構成されています（2023年6月16日現在）。

また、CO・OP共済事業は、日本生協連で実施する商品供給事業、福祉事業支援等の活動とも密接な関係を持ち、組合員のふだんの暮らしに役立つ事業をめざしています。



2

CO・OP共済は全国で加入できます

CO・OP共済は、主に地域の購買生協でご加入できます。ご加入いただく場合は、まず出資金をお支払いいただき、地域の生協の組合員になっていただきます。引越し等によって、やむを得ず生協を脱退する場合でも、転居先のCO・OP共済を取り扱っている生協で組合員になっていただければ契約を継続できます。

なお、CO・OP学生総合共済に関しては、大学生協と地域生協でご加入いただけます。

3

元受共済と受託共済

CO・OP共済には、元受共済と受託共済があります。元受共済は、コープ共済連が契約引受団体となり、共済掛金を預かり、共済金を支払う責任を負う共済です。元受共済として、CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいづらす》、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉・終身医療、CO・OP学生総合共済の5商品があります。《たすけあい》はご加入の生協により、その生協が加盟する連合会（生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会、パルシステム共済生活協同組合連合会、グリーンコープ共済生活協同組合連合会）とコープ共済連が共同で引き受け、各団体がそれぞれ共済金を支払う責任を負います。

元受共済だけではカバーできない分野の保障については、こくみん共済 coop〈全労済〉や損害保険会社等と提携して組合員に提供しています。

商 品 名		契約引受団体	取扱団体
元受共済	《たすけあい》	コープ共済連	会員生協
		コープ共済連・共同引受会員	会員生協
	《あいづらす》	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》 終身生命〈低解約返戻金型〉	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身医療	コープ共済連	会員生協
	《学生総合共済》	コープ共済連	会員生協
受託共済	《新あいあい》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《火災共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《マイカー共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協

※CO・OP共済の保障責任については、各契約引受団体は連帯することなく、その引き受けに応じて単独で責任を負います。

1

コロナ禍で発揮された「たすけあい」の力

(1) 新型コロナウイルス感染症関連で145.8万件、810億円の共済金をお支払いしました

2022年度は、2022年1月頃から続く第6波、そして2022年7月頃からの第7波の爆発的な感染拡大を受け、新型コロナウイルス感染症に関する共済金を810億円お支払いしました。CO・OP共済は加入者どうしの助け合いの保障です。970万人の助け合いの力により、多くの組合員の皆さまのお役に立つことができました。

組合員の声

今回子どもがコロナで共済金をいただきました。40℃以上の発熱など身体的に辛そうで、療養期間がお盆にかぶり夏休みのイベントがすべて白紙になってしまいました。私(母)とも隔離でしばらく離ればなれで生活したので、毎晩泣いていました。この共済金を子どもたちが何か楽しめることに使えたらと思っています。組合員の助け合い…ありがとうございます。今度は私の掛金が他の人の助けになったらいいなあと思います。

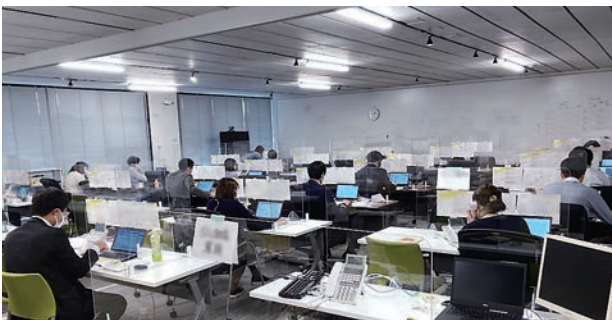
保障がわかりやすく、支払いもスムーズと伺い加入しました。今年はコロナの共済金請求も多かったと思います。我が家はコロナにはかかっていませんが、かかった人は本当にありがたい共済だったと思います。助け合いの共済、言葉通りだなと思います。

※新型コロナウイルス感染症による自宅療養・宿泊療養(みなし入院)の共済金請求について、新型コロナウイルス感染症陽性と診断され、自宅または宿泊施設で療養された場合に入院とみなす特別な取り扱いを行ってきましたが、2022年9月26日から重症化リスクの高い方のみ入院共済金のご請求対象に変更となりました。2023年5月8日からは医療機関に入院された方のみ入院共済金のご請求対象に変更となりました。

(2) コロナ禍でも組合員への貢献を評価いただき、
2年連続 顧客満足度第1位をいただきました

CO・OP共済は、2022年度JCSI(日本版顧客満足度指数)第4回調査生命保険部門にて、2021年度に引き続き2年連続、通算7度目の顧客満足度第1位を獲得しました。

2022年度は、コロナ禍で支払いやサービスに滞りが発生したことを受け、生命保険業種全体の評価は低下しました。CO・OP共済でも請求件数の急増によるコールセンターでの応答率の低下や、共済金請求受付・支払い手続きの遅延等により加入者の皆さまにはご迷惑をおかけしました。少しでも早くお支払いをするため、コープ共済連の全部署で支払い業務をおこない、新型コロナウイルス感染症専用のコールセンターの設置および電話対応、請求受付対応等を行いました。



▲新型コロナウイルス感染症専用のコールセンター

コロナ禍においても、全国の生協役職員が一丸となって組合員の「ねがい」に応えたいという「おもい」を持って行動したことで、6指標中5指標(顧客期待、知覚品質、知覚価値、顧客満足、推奨意向)において1位の評価をいただきました。

CO・OP共済は、今後も組合員に寄り添い、たすけあいの輪を広げてまいります。

(3) たすけあいの力でより充実した保障を実現しました

既存のご加入者も掛金そのまま、よりよい保障内容を提供できるようになりました。

■2022年9月からの商品改定のご紹介

①《たすけあい》大人向けコース・告知緩やかコースがスタート！

◎コース数をしぼり、シンプルでわかりやすくしました！

これまで	リニューアル後
医療1000円コース	告知緩やか1000円コース New
女性コース 医療コース ベーシックコース	大人向けコース (男性・女性) New (2000円・3000円・4000円の3つのコース)

◎保障内容の改善ポイント

- 大人向けコース (女性) は、女性入院時諸費用サポート共済金としてケガや病気の内容に関わらず、一律で入院日額に2,000円～3,000円をプラスしてお支払いします。
- 大人向けコース (男性) は医療保障と死亡保障のどちらもバランス良く備えられるよう改定しました。
- 告知緩やかコースには新たに「家族死亡・家族重度障害共済金」の保障が加わります。

大人向け2000円コース (女性) の場合	
病気入院・ 事故 (ケガ) 入院 (1日目から184日分)	ケガや病気の内容にかかわらず 左の日額にプラス
日額 6,000円	日額 2,000円

組合員の声

娘の誕生とともに20年程前に保障の見直しをして《たすけあい》に加入しました。それから手頃な掛金と共済金に家計は大変助かりました。子育て中は若さで乗り越えてきた体力も今回ばかりは初めての療養で、気持ちが落ち込みました。この度は女性サポートを含め保障内容の手厚さに驚きと感謝しかありません。これからも健康第一でいたいですね。

派遣で仕事をしているので月10万円前後の収入しかありません。今回女性サポートとして共済金がプラスされとても助かりました。女性はパート等収入が少ない方がいるので、これからも女性に優しいコープでいてほしいです。

②手術の支払い方式がよりわかりやすくなりました！

手術共済金の支払基準をよりわかりやすく、またできる限り診断書不要で簡単にお手続きできるよう、術式指定方式から診療報酬点数連動方式へ手術共済金の支払方式を変更しました。また、お支払いの対象となる手術の範囲を広げてさらにお役立ちできるよう、新たな支払倍率として最低倍率 (2倍または5倍) を新設しました。

※《たすけあい》では2022年9月1日以降に受けた手術より、《ずっとあい》終身医療では2022年9月2日以降に発効する契約より、新方式 (診療報酬点数連動方式) が適用されます。その他商品は適用対象外です。

③《ずっとあい》終身生命・終身医療の改定

- i) 共済掛金を改定しました。
- ii) 《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉*が誕生しました。
- iii) 一部コースで加入可能年齢を引き下げました。

《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉 200万円	加入可能年齢 満45歳から ⇨ 0歳から
《ずっとあい》終身医療 入院日額3,000円	加入可能年齢 満60歳から ⇨ 満30歳から

iv) 《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉：掛金払込期間に、80歳払い込み満了を新設しました。

※改定内容はいずれも2022年9月2日以降に発効する契約より適用されます。

* 共済掛金払込期間中の解約返戻金額を抑制するしくみにより、月々の掛金負担額を抑えている商品です（共済掛金払込期間中の解約返戻金は、解約返戻金を抑制しない場合の70%相当額です）。なお、掛金の払込総額がお支払いする死亡共済金を上回る場合があります。

④ 放射線治療による手術共済金の支払基準を緩和しました！ ※適用となる契約ごとに条件は異なります。

※2022年度の商品改定の詳細につきましては、CO・OP共済オフィシャルホームページをご確認ください。

2 若年層への支援を一層強化

(1) CO・OP学生総合共済で学生生活を総合的にサポート

大学生協も一緒に、大学生、若年層に助け合いの輪を広げてまいります。

① コープ共済連は大学生協共済連から共済事業を譲り受けました

2022年4月1日、コープ共済連は大学生協共済連(全国大学生協共済生活協同組合連合会)との共同引受にてCO・OP学生総合共済の取り扱いを開始し、同年10月1日には、学生総合共済等の共済事業を全部譲受しました。大学生協や地域生協とのつながりを強化し、学生、新社会人と切れ目ない保障商品の提供に取り組めます。

2023年3月現在、71万人に学生総合共済に加入いただいております。2022年度は、72.6億円をお支払いしました。



▲学生総合共済 事業譲渡調印式の写真
左：大学生協共済連 米山会長(当時)
右：コープ共済連 和田理事長

② 大学生協のない大学等でも加入が可能に

学生総合共済は1981年に大学生協でスタートしました。CO・OP共済で取り扱いを開始したことにより、大学生協のない大学等に入学した学生も地域生協に加入することで、充実した保障にお申込みいただくことが可能になりました。

組合員の声

子どもの進学した大学には大学生協がなく、昨年は別の保険に加入していましたが、今年度から親が生協組合員なら《学生総合共済》に加入できるようになったと知り、さっそく加入いたしました。保障内容は手厚く、掛金は安くなり満足しています。

J1000円コースでお世話になっていた子どもも、20歳、18歳になりました。そろそろ満期だ—生涯の保障を、と考えるタイミングで、ジュニアコースで30歳まで保障されるようになり、《学生総合共済》がはじまりました。まだまだ大学の学費で大変な時に、お手頃な金額で続けていけるのは、本当に助かります。ここまで大きくなるまで、何度も入院し、その度助けてもらいました。子どもが独立するまで、よろしくお願いします。

③卒業後も新社会人コースで安心をお届けできるようになりました

大学等の卒業後は、健康状態にかかわらず申し込める学生総合共済からの更新・更改専用コース、「新社会人コース」(30歳満期)が誕生しました。大学卒業後、ライフプランの変化が起きても、大切な保障は途切れず継続できるようになりました。さらに、30歳満期を迎えたら健康状態にかかわらず、《たすけあい》大人向けコースにもお申込みが可能です。

※お申込みされるコースによっては健康告知事項への回答が必要です。



組合員の声

大学時代の学生総合共済に続けて、新社会人コースに入っています。生まれた時からずっと加入しています。使うことなくても幸せ。お守りがわりにずっと子どもたちを守ってくれるありがたい保障です。

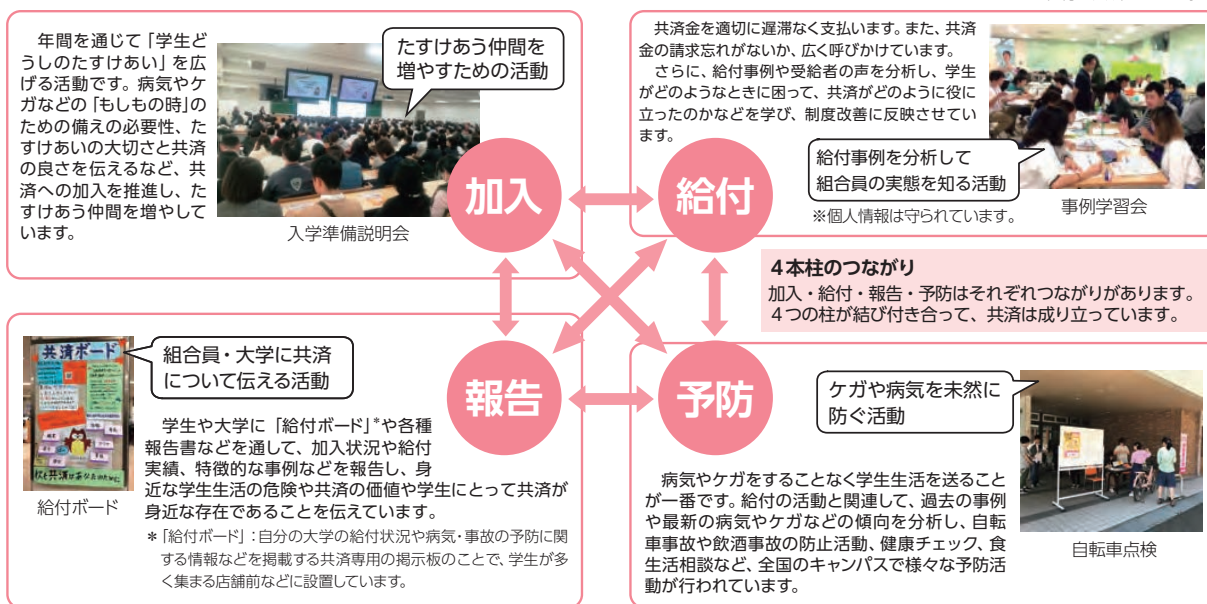
新社会人コースは新卒の私にとってとても適したプランで、説明もわかりやすく、安心して加入することができました。ありがとうございました。

大学在学中腎臓病になり、保険加入はできないと思っていましたが、新社会人コースに加入でき、安心しました。掛金も手頃で大変助かります。

④学生どうしのたすけあいも広がっています

共済活動の4本柱 ～加入・給付*・報告・予防の4つの取り組みが学生生活を支える～

*給付＝共済金のお支払い



⑤大学生に向け、生協ならではの暮らしとお金のセミナーを開催

コープ共済連は、大学生や専門学校生等を総合的にサポートするため、保障の提供だけでなく、身近な暮らしとお金にまつわるライフプラン教育を実施しています。CO・OP学生総合共済がスタートした2022年度は、コープ共済連と地域生協が大学生協と協力し、地域生協のライフプラン・アドバイザー(以下、LPA)が大学生に向けて「社会人になってからのお金の使い方」を学ぶオンラインセミナーを実施しました。

事例紹介：1都8県大学生向けLPA合同セミナー

大学生協の東京ブロックとコープ共済連の共催として、関東1都8県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟）において「大学生向けLPA合同セミナー」（オンライン学習会）を実施、事前申し込みで1,000名、当日参加者最大560名、後日配信にて107名が参加しました。給与明細から見える3つのお金（税金・年金・健康保険）の仕組みと、お金のまつわる「やってはいけないこと」をテーマに学習しました。給与明細の見方にはじまり、将来奨学金の返済が苦しくなった際の救済制度の活用、クレジットカードの使い方等、大学生が安全に社会に出られるよう、身近で大切な話題を取り扱いました。

参加後アンケートでは「一人暮らしを前に心強い」という声もあり、大学生におけるライフプランニング活動の需要の高さ、必要性を感じる場となりました。

大学を卒業しても、新社会人コース、《たすけあい》と保障は続けられます。CO・OP共済は様々な角度から、継続的に若者をサポートし続けます。

社会人になる前に知っておきたい

学生のための

身近な **お金のセミナー**

日時 2023年1月26日(木) 午後2時～4時25分 ※参加費無料

形式 Zoomセミナー
※申込後、開演1週間前までにZoomのIDとパスワードが送付されます。

定員 先着300名程度

対象 学生(高専生・大学生・院生)
※このお申し込みは、奨学金の返済などで、これから社会人になる方が、お金のライフプランの知識を身に付けたい方

講演内容

14:00～14:05	開会挨拶
①14:05～14:35	給料から引かれるお金①税金 ～5分休憩～
②14:40～15:10	給料から引かれるお金②年金 ～5分休憩～
③15:15～15:45	給料から引かれるお金③健康保険 ～5分休憩～
④15:50～16:20	これだけはしてはいけない!
16:20～16:25	閉会挨拶

★講師：生涯ライフプランアドバイザー
※ライフプランアドバイザーとは生涯の節目や目標を整理し、くらしのお金に関する専門知識を身につけた生涯総合士です。

お申し込み 右記の二次元コードまたはURLからお申し込みください。
申し込み期限：2023年1月10日(火)
<https://forms.office.com/r/CHMsbwDDJX>

主催：大学生協同組合 東京ブロック 日本コープ共済生活協同組合連合会

(2) コロナ禍で経済的に苦しい学生を支援するため寄付プロジェクトを実施しました

★CO・OP共済 子ども・学生 未来応援 プロジェクト

たすけあいのココロを届けよう

共済マイページお手続きで

Online たすけあい

2022年5月1日(日)～7月31日(日)

共済マイページを通じて子ども・学生の未来を応援 >>

2021年度に引き続き、「共済マイページお手続きでOnlineたすけあい～CO・OP共済 子ども・学生未来応援プロジェクト」を実施しました。16万人以上の加入者のご協力により、扶養者を亡くされた大学生のための奨学金制度に809万円の寄付をおこなうことができました。

本プロジェクトでは、CO・OP共済の契約者向けWeb手続きサービス「共済マイページ」の利用登録または「共済マイページ」上で指定の手続きを行っていただいた件数に応じ、1件につき50円

をコープ共済連から一般財団法人 全国大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度)に寄付しました。

(3) 夢に向かって頑張る若者と保護者を支援(全国高校サッカー選手権大会への協賛)

2021年度に引き続き、頑張るお子様とそのご家族を支えることを目的として、「第101回全国高校サッカー選手権大会」に協賛しました。全国大会全試合のテレビ放映時には、テレビCM(ナイスプレー編)を放映しました。「子どもたちのために日々支え続ける親御さんの気持ちに寄り添いたい」という想いを込めたCMには、Jリーグのサガン鳥栖や北海道コンサドーレ札幌で活躍し2020年に引退された、早坂 良太さんにもご出演いただきました。

今後も都道府県地区大会から全国大会と、大会への応援を通じて、頑張るお子様とそのご家族に寄り添い支え続けるCO・OP共済を目指してまいります。



3

組合員と地域社会のための取り組み

(1) 地域の「協働」を支援する地域ささえあい助成が10周年を迎えました

地域共生社会の実現に向け、生協と生協以外の多様な団体の協働を支援する「地域ささえあい助成」は2022年3月で10周年を迎えました。10年を振り返り、2022年度からは、これまでより

地域ささえあい助成

—生協と生協以外の団体の協働を応援します—

さらに生協と生協以外の団体の協働を後押しできるように改定した新たな制度でスタートしました。2021年度までの10年間では、延べ386件の活動に対し、総額2億1,737万円を助成しています。また、2022年度には、10周年記念企画として、過去に助成を受けた活動に参加された方からエピソードを募集し、特設ページに掲載する等の取り組みも実施しました。コープ共済連は、地域ささえあい助成をとおり、人と人とのつながりの中で、時にはささえ、時にはささえられながら誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

10周年記念特設ページはこちらからご覧いただけます。



(2) コーすけ10周年企画のご紹介

おかげさまでコーすけは10周年を迎えました！



CO・OP共済公式キャラクター コーすけは、2022年8月8日に10回目の誕生日を迎えました。「明日の暮らし、ささえあう」というCO・OP共済のブランドスローガンを、組合員や一般の方に広く知っていただくことをミッションとして生まれたコーすけは、全国の生協で、たくさんの組合員や職員に親しまれています。

組合員の声

子どもが小さい時に加入したのですが、コーすけグッズなどをいただけて喜んでいました。その後もコーすけグッズを身につけていると、地域の違う宅配の方にも声をかけていただけて、親子ともにありがたかったです。

①47都道府県のご当地コーすけが誕生しました！

10周年記念として、特設サイトにて47都道府県にちなんでデザインした全47種類のコーすけイラストの人気投票をおこないました。見事1位に輝いたのは、広島県のもみじ饅頭コーすけです。皆さまも、ぜひお気に入りのコーすけを見つけてください。

エリアごとのランキングはこちらからご覧いただけます。

コーすけ10周年



②コーすけかきうたキャンペーンを開催しました！



▲ご応募いただいたイラスト

Instagramで実施した「コーすけかきうたキャンペーン」では、10周年を祝して作成したコーすけかきうたをもとに、コーすけファンの皆さまから様々なコーすけイラストが集まりました。参加者からはお子さまやご自身が楽しみながら描いてくださっているエピソードも届き、CO・OP共済のInstagramアカウントがコミュニケーションの場となりました。

ご参加いただいた方からのコメント

兄弟二人で絵描き歌を見ながら、コーすけをかきました😊 コープにお買い物に行くといつもいるコーすけは、我が家のおなじみの存在♥ 絵描き歌、はじめての次男2才は、はまりにはまって、歌いながらもう1回!! と20回はくりかえし見ながらとっても楽しんでいました😊

(3) 育児あるある川柳 昨年に続く第2弾 2万5,000件のご応募をいただきました

「さまざまな育児の形を応援し、くらしに寄り添うCO・OP共済」をコンセプトに第2回「CO・OP共済 育児あるある川柳」を実施しました。育児の“あるある”をテーマに、全国から25,474件を応募いただき（昨年比197.5%増）、合計60作が選ばれました。応募傾向では「パパの育児賞」への応募が前回から約2倍以上に増えており（前年比238.0%）、男性の育児参画への機運の高まりが感じられました。また今回は、コーすけ誕生10周年を記念して小学6年生以下のお子さんを対象に「コーすけ10周年特別賞」も設けました。



▲最優秀賞



▲優秀賞



▲コーすけ10周年特別賞から1句

入選作品はホームページにてご覧いただけます。

コープ共済 育児あるある川柳



(4) Webサービスを充実させ、より便利なCO・OP共済へ

2022年度、《たすけあい》同様、学生総合共済・新社会人コースの加入者も共済マイページから以下の機能が利用できるようになりました。

- ・事故（ケガ）通院共済金の請求
- ・住所、電話番号の変更
- ・控除証明書の再発行、電子発行

共済マイページで可能な手続きについては、CO・OP共済オフィシャルホームページをご確認ください。

1

2022年度における事業の概況

2022年度のCO・OP共済事業は、加入者数が全体で970万人に達し、受入共済掛金は過去最高を更新し、211,729百万円（前年比102.6%）となりました。共済金の支払いは287万件、152,859百万円（前年比211.0%）となりました。

(1) 損益全体の概況

経常収益は、予算を超過し251,560百万円となりました。受入共済掛金は、予算を977百万円上回り（予算比100.5%、前年比102.6%、前年差+5,456百万円）、資産運用収益は、予算を42百万円超過しました（予算比101.9%）。

経常費用は、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波での感染者急増により、支払共済金が予算を58,218百万円上回る結果となり、共済契約準備金繰入額は予算を29百万円下回りました。また、事業経費は人件費が予算差+22百万円、物件費が予算差+738百万円、共済委託手数料が予算差+64百万円、合計で予算を825百万円超過する結果となりました。

経常剰余金（経常損失金（△））は、予算を58,481百万円下回り、△24,166百万円の実績となり、特別損益として、異常災害見舞金・ストーカー被害見舞金および価格変動準備金繰入額等を計上し、結果、税引前当期剰余金（税引前当期損失金（△））は△24,858百万円となりました。

法人税等還付税額、法人税等調整額等を計上し、当期剰余金（当期損失金（△））は△19,304百万円となり、結果、当期末処分剰余金は0円となりました。2022年単年度の損失は、任意積立金の一部17,219百万円を取り崩す等で補てんしました。

(2) 資産運用の状況

2022年度の資産運用は、年度資産運用方針に沿って、各資産の売買を執行しました。

国内債券の執行では、金利の上昇基調から組み入れ機会が多く、2022年度方針の想定を上回りました。金銭の信託では、各国の金融政策が転換期を迎え、経済・市場環境が大きく変化する中で、慎重に執行を行った結果、2022年度方針の想定を下回りました。

資産運用収益は、国内債券の利息収入、金銭の信託の配当や売却損益を計上したことで、2,245百万円となりました。資産運用費用（投資顧問料等）は、262百万円となりました。

(3) 課題の到達点

2022年度は、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波での感染者急増において、共済金のお支払いに全組織で取り組みました。また、2022年10月1日、全国大学生協共済生活協同組合連合会から共済事業を全部譲受し、共済契約を包括移転しました。

- ①商品開発課題：2022年度商品改定として、『たすけあい』新コースを新設。また、『たすけあい』『ずっとあい』手術共済金の支払基準をよりわかりやすくするため、診療報酬点数連動方式へ変更。
- ②推進課題・共同事業の課題：2022年度累計で新規加入実績が564,901人（計画比102.3%、前年比102.3%）となり、計画・前年実績ともに超過。「インターネット共済加入」は前年実績を大きく上回り、「早期共済加入」「メディア戦略」にも引き続き注力。
- ③組合員の参加と共感を広げる課題：共済マイページの新規登録や利用件数に応じて寄付をおこなう取り組みを実施し、扶養者が死亡したため学業継続が経済的に著しく困難である学生に対し返済不要の奨学金を給付する制度をおこなう「一般財団法人 全国大学生協連奨学財団」に8,090,850円を寄付。
- ④CO・OP共済らしい事務構築の課題：コロナ禍でのコールセンターの応答率低下もあり、共済マイページの利用が拡大。Webによる新型コロナ請求受付、SNSやWEBチャット等の活用により電話による問い合わせを削減。
- ⑤共済事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題：「地域ささえあい助成団体交流会」や「健康づくり支援企画取り組み交流会」を開催。
- ⑥CO・OP共済を支える職員の育成課題：職員の主体的な取り組みを通じて2030年ビジョンを実現していくための「私たちの行動宣言」を策定。
- ⑦事業運営課題：新共済保険基幹システムの第1段階を総括するとともに、2030年度までの「共済事業システムのグランドデザイン」を策定。
- ⑧保険事業と共済事業の一体的推進の課題：くらしに必要な保障の考え方をまとめた「生協の保障の考え方」・全国制度の団体保険の職員用学習ツール準備。
- ⑨他団体との協同の取り組み課題：様々な地域で大学生向けのライフプランニングの学習会の取り組みを拡大。（例：大東文化大学での「生協の共済事業」と「ライフプランニング」をテーマにした講義）

■ 主要な業務の状況を示す指標

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益	225,541	230,788	238,452	244,658	251,560
経常剰余金または経常損失金	47,743	49,946	53,873	44,188	△24,166
当期剰余金または当期損失金	8,766	9,781	11,851	7,971	△19,304
出資金	63,359	63,359	63,359	63,362	63,384
出資口数 (単位：口)	633,596	633,596	633,596	633,626	633,845
純資産額	142,205	149,431	163,576	169,686	147,031
総資産額	421,662	452,014	492,945	523,434	492,497
責任準備金残高	159,960	177,822	199,460	218,494	240,348
貸付金残高	—	—	—	—	440
有価証券残高	198,482	189,000	225,458	255,488	260,654
支払余力比率 (%)	1367.3	1417.0	1539.2	1586.7	1234.1
剰余金配当の金額 (出資配当金)	760	760	760	760	—
職員数 (単位：人)	1,215	1,277	1,328	1,548	1,647
保有契約高 (単位：億円)	124,368	125,899	128,524	130,863	150,538

注1. 支払余力比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規則」に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較できません。なお、「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規則」の改正により、2019年度より新たな基準による数値を記載しています(2018年度以前の支払余力比率は法令改正前の基準による数値です)。

2. 職員数は、外部への出向者、日本生協連・会員生協・他団体からの出向者、嘱託職員、派遣スタッフを含みます。

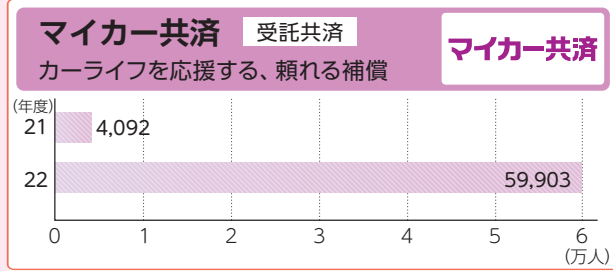
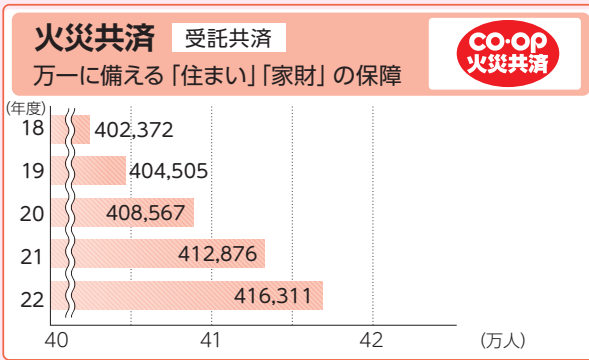
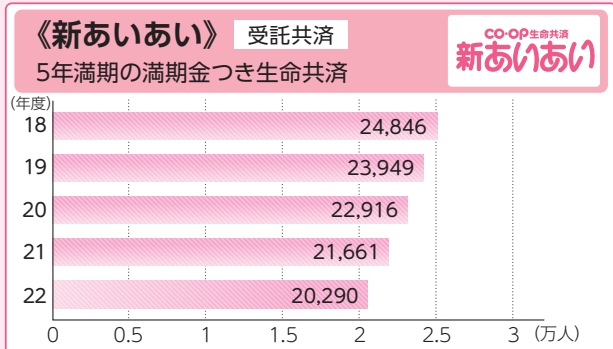
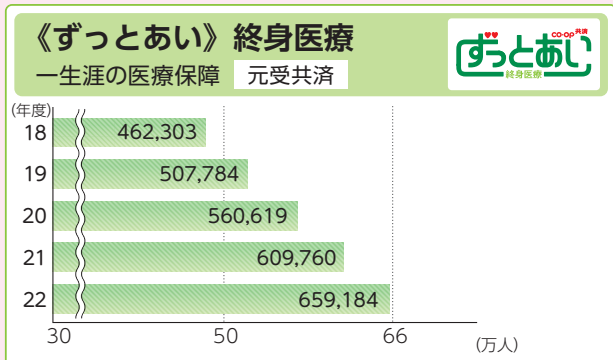
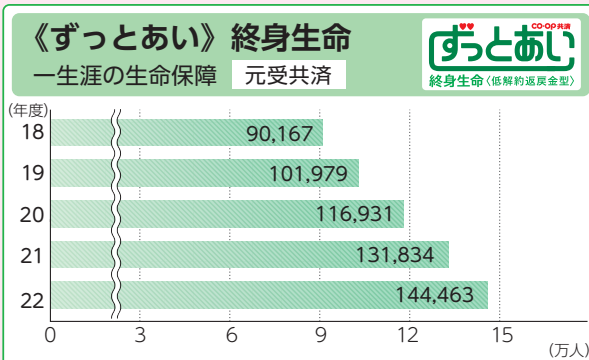
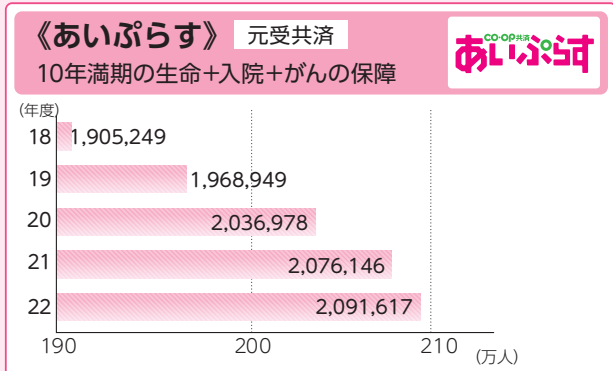
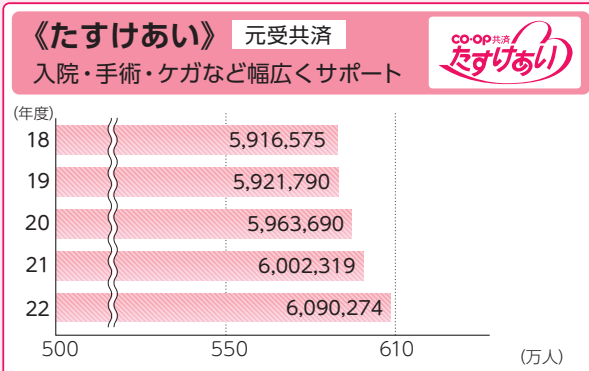
2 CO・OP共済事業の経過と実績

加入者数

CO・OP共済 8商品加入者数 **1,020万人**
元受5商品加入者数 **970万人**

加入者数は94万人（《学生総合共済》の71万人を含む）増加し、8商品合計で1,020万人（前年比110.2%）となりました。うち、CO・OP共済《たすけあい》609万人、CO・OP共済《あいぷらす》209万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉14万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身医療65万人、《学生総合共済》71万人となり、元受共済合計で970万人（前年比110.0%）となりました。

加入者の推移

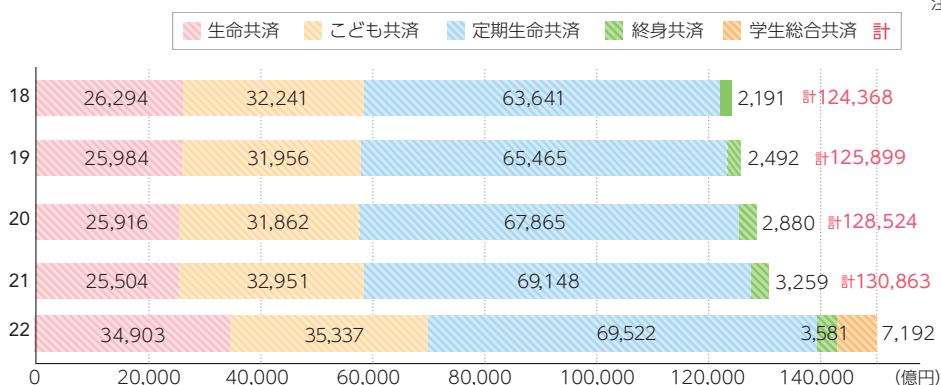


契約高

保有契約高 **15 兆 538 億円**

CO・OP共済の保有契約高(元受共済)は、15兆538億円(前年比115.0% 1.9兆円増)となりました。

元受共済契約高の推移



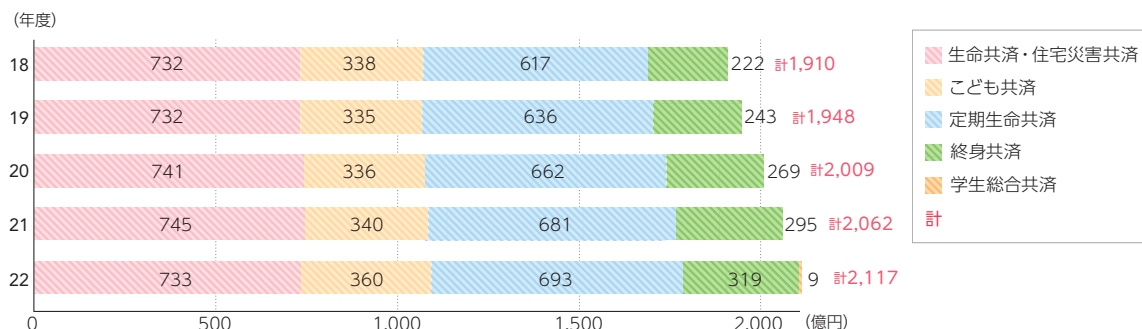
- 注1. 契約高は、生命共済・こども共済・定期生命共済・終身共済および学生総合共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
2. 「生命共済」とは、「たすけあい」のジュニアコース以外のコースおよび「あいあい」の一部をさします。「こども共済」とは、「たすけあい」のジュニアコースをさします。「定期生命共済」とは、「あいづらす」をさします。「終身共済」とは、「ずっとあい」をさします。「学生総合共済」とは、「学生総合共済」および新社会人コースをさします。
3. CO・OP共済全体(CO・OP共済グループ全体)実績は参考資料をご参照ください。

共済掛金

受入共済掛金 **2,117 億円**

CO・OP共済の受入共済掛金(元受共済)は、2,117億円(前年比102.6% 54億円増)となりました。

元受共済受入共済掛金の推移



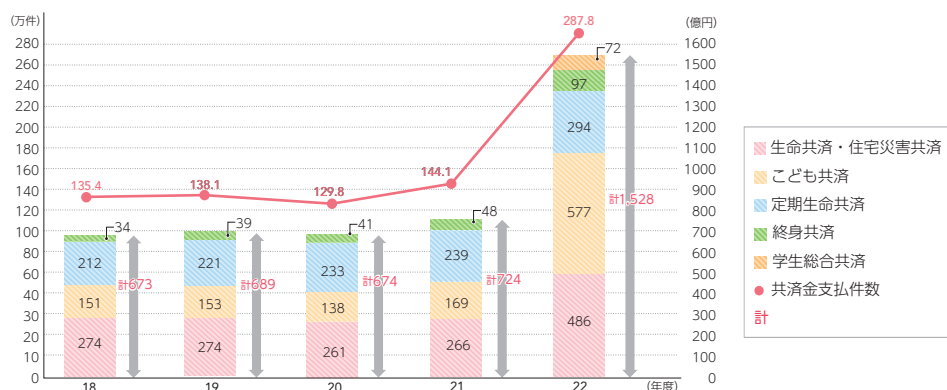
共済金

支払共済金 **287万 8,428 件 1,528 億円**

CO・OP共済の共済金支払件数(元受共済)は、287万8,428件(前年比199.6% 143万6,646件増)となりました。

CO・OP共済の支払共済金額(元受共済)は、1,528億円(前年比211.0% 803億円増)となりました。2022年度は、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、例年の倍以上、共済金をお支払いしました。

共済金支払件数と支払共済金額の推移



剰余金処分

2022年度決算後の剰余金処分は以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

	2021年度	2022年度
当期末処分剰余金	9,617	0
剰余金処分量	11,811	3,902
法定準備金	1,600	0
出資配当金	760	0
任意積立金	9,451	3,902
次期繰越剰余金	398	0

支払余力比率

支払余力比率は、1234.1%となり、十分な支払余力を備えています。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目	2021年度	2022年度
支払余力総額 (A)	241,370	213,998
リスクの合計額 (B)	30,424	34,681
支払余力比率 (C) = (A) / {(B) × 1/2} × 100	1586.7%	1234.1%

注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。消費生活協同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規程第4条の2から第4条の5までの規定に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。

基礎利益

基礎利益は、以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2021年度	2022年度
基礎利益	45,602	△ 21,885
利差益	214	△ 182
危険差益	36,743	△ 27,211
費差益	8,644	5,508

注1. 基礎利益は、損益計算書の「経常剰余」から有価証券売却損益などの「キャピタル損益」および異常危険準備金繰入額などの「臨時損益」を除いて算出され、共済事業の基礎的な期間収益の状況を表す指標です。

2. 利差益、危険差益、費差益について

利差益：想定した資産運用益（予定利率）と実際の運用収益との差額

危険差益：想定した共済金支払額（予定危険率）と実際に発生した共済金支払額との差額

費差益：想定した事業費（予定事業費率）と実際の事業費との差額

4

割戻金の状況

2022年度は当期末処分剰余金がないため、割戻金はありません。
各事業規約における契約者割戻準備金は、以下のとおりです。

CO・OP共済《たすけあい》

◎ 生命共済・住宅災害共済（ジュニアコース以外のコース）、こども共済（ジュニアコース）

2022年度の生命共済・住宅災害共済・こども共済における契約者割戻金はありません。

■ 事業規約別の割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2021年度	2022年度
生命共済事業*	15,681	0
住宅災害共済事業	227	0
こども共済事業	1,075	0
合 計	16,983	0

*生命共済事業には、CO・OP共済《あいびらす》プラチナ85に付帯する先進医療特約を含みます。

CO・OP共済《あいびらす》

◎ 定期生命共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで積み立ててお支払いします。

2022年度は、5億654万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2021年度	2022年度
定期生命共済事業	14,655	506

CO・OP共済《ずっとあい》

◎ 終身共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで積み立ててお支払いします。

2022年度は、450万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2021年度	2022年度
終身共済事業	591	4

5

資産運用状況

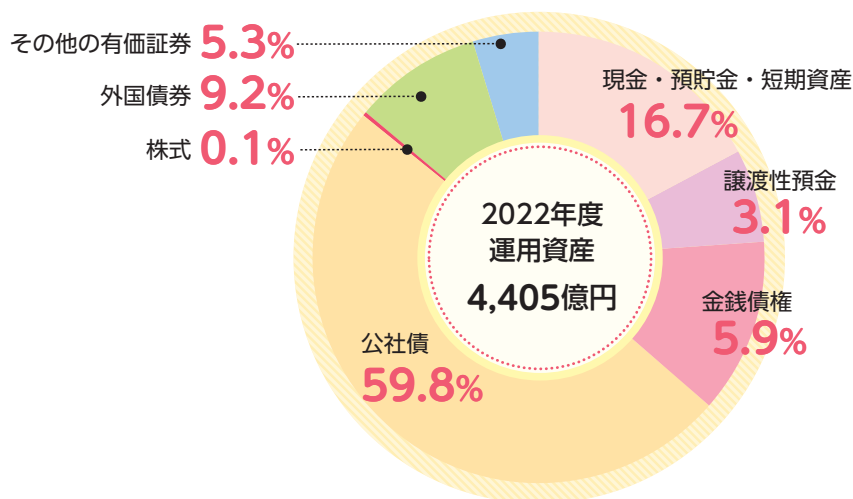
コープ共済連では資産運用方針に沿って、健全な運用に努めています。

資産運用方針

- ① コープ共済連では、CO・OP 共済ご契約者の皆様からお預かりした資金を、「消費生活協同組合法施行規則」に基づき、安全かつ効率的に運用を行います。
- ② 市場価格の変動リスクや信用リスク等の資産運用に関わる各種リスクについては、資産運用リスク管理規程において、それぞれのリスク管理方法を定め、またALM(資産と負債の総合管理)の観点から負債特性を踏まえ、適切な管理を行います。
- ③ 資産運用にあたっては、資金の特性に応じ、預貯金や公社債といった安全資産を軸とした適切な運用・管理を実施します。

■ 運用資産の状況

運用資産は、4,405億円となりました。その内訳は、現金・預貯金・短期資産が16.7%、譲渡性預金は3.1%、金銭債権は5.9%、公社債が59.8%などで構成されています。



■ SDGs債への投資

コープ共済連では、2017年度からSDGs債*への投資を開始しました。

以降、徐々に取り組みを拡大し、2023年3月現在で146億円の保有残高となっています。今後もSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

* 債券の発行によって調達した資金の使途を環境課題の解決に資する事業に限定した「グリーンボンド」、資金使途を社会的課題の解決に限定した「ソーシャルボンド」、環境と社会両面の持続可能性に貢献する「サステナビリティボンド」など、これらは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献する債券であるとしてSDGs債と総称されています。

CO・OP共済では、生命・医療の保障である《たすけあい》、《あいぷらす》、《ずっとあい》、《学生総合共済》、《新あいあい》と、住まいと家財の万が一に備える《火災共済》、車の補償である《マイカー共済》を取り扱っています。ご家族一人ひとりにあった商品、コースをお選びいただけます。

■ 商品ラインナップ



■ 生命・医療に関する保障イメージ

CO・OP共済は0歳から加入でき、加入者の一生涯の保障を提供しています。



CO・OP共済《たすけあい》(生命共済・住宅災害共済・こども共済)



入院、ケガによる通院など“生きていく中で必要な保障”を手頃な掛金で充実させた共済商品です。家族死亡や住宅災害の保障もついて(ジュニアコースを除く)、幅広い場面で加入者のお役に立っています。

ジュニアコース

入院や子どもに多いケガの保障が充実。

■ 加入できる年齢(発効日時点)／性別 → 0歳～満19歳^{*1}／女性・男性

■ 保障期間 → 満30歳の満期日まで
※大人向けコース等で保障が続けられます。

保 障 内 容	J1000円コース 月掛金1,000円	J2000円コース 月掛金2,000円	J1900円コース 月掛金1,900円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から360日分)	日額 6,000円	日額 10,000円	日額 5,000円
事故(ケガ)通院 ^{*2} (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円	日額 3,000円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 2・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 0.8・4・8・16万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	36万円	60万円	30万円
事 故 後 遺 障 害 ^{*3} (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円	障害の程度に応じて金額が変わります 28～700万円	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円
病気死亡・重度障害 ^{*4}	100万円	500万円	100万円
事故死亡・事故重度障害 ^{*4} (事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円	上記にプラス 300万円	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害 ^{*4}	4万円	20万円	4万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害 ^{*4} (事故日から2年以内)	100万円	700万円	100万円

*1 19歳までにジュニアコースへ加入いただいた方は、満29歳まで同コース間の変更(更改)が可能です。

大人向けコース(女性)

病気やケガの内容にかかわらず、入院時には女性入院時諸費用サポートで手厚く保障

New!

■ 加入できる年齢(発効日時点)／性別 → 満20歳～満64歳／女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

保 障 内 容	2000円コース(女性) 月掛金2,000円	3000円コース(女性) 月掛金3,000円	4000円コース(女性) 月掛金4,000円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 6,000円	日額 8,000円	日額 10,000円
女性入院時諸費用サポート (1日目から184日分)	上記の日額にプラス 日額 2,000円	上記の日額にプラス 日額 2,500円	上記の日額にプラス 日額 3,000円
事故(ケガ)通院 ^{*2} (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,500円	日額 1,750円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12・24万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	48万円	63万円	78万円
事 故 後 遺 障 害 ^{*3} (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4～100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8～200万円	障害の程度に応じて金額が変わります 12～300万円
病気死亡・重度障害 ^{*4}	100万円	300万円	400万円
事故死亡・事故重度障害 ^{*4} (事故日から2年以内)	上記にプラス 100万円	上記にプラス 200万円	上記にプラス 300万円
家族死亡・家族重度障害 ^{*4} (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円		
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水・半壊・全壊・全壊・流失	3・15・30万円		

大人向けコース(男性)

医療保障と生命保障をバランス良く備えられます。

New!

■ 加入できる年齢(発効日時点) / 性別 → 満20歳～満64歳 / 男性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

※満85歳まで《あいづらす》プラチナ85で保障を続けられます。

保 障 内 容	2000円コース(男性) 月掛金2,000円	3000円コース(男性) 月掛金3,000円	4000円コース(男性) 月掛金4,000円
病气入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 6,000円	日額 8,000円	日額 10,000円
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,500円	日額 1,750円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12・24万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	36万円	48万円	60万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4～100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8～200万円	障害の程度に応じて金額が変わります 12～300万円
病气死亡・重度障害*4	100万円 ⬆ 上記にプラス 100万円	300万円 ⬆ 上記にプラス 200万円	400万円 ⬆ 上記にプラス 300万円
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)			
家族死亡・家族重度障害*4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)		1・2・5万円	
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失		3・15・30万円	

告知緩やかコース

通院中や服薬中の方、持病のある方も入りやすいコース

New!

■ 加入できる年齢(発効日時点) / 性別 → 0歳～満64歳 / 女性・男性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

※満85歳まで《あいづらす》プラチナ85で保障を続けられます。

保 障 内 容	告知緩やか1000円コース 月掛金1,000円
病气入院・事故(ケガ)入院	日額 2,000円 19歳まで：1日目から360日分 *5 20歳から：1日目から184日分
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 0.5・1・2・4万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	12万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 2～50万円
病气死亡・重度障害*4	10万円 ⬆ 上記にプラス 50万円
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	
家族死亡・家族重度障害*4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失	3・15・30万円

*2 医師の指示により固定具を装着した場合、ケガ通院共済金10日分が通院日数に加算される場合があります。

*3 事故により支払割合が100%の後遺障害となった場合には、この表の事故後遺障害の最高金額と、事故死亡・事故重度障害の金額を合算してお支払いします。

*4 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の②③④の状態。

*5 発効日における年齢が0歳～満19歳の場合、満20歳の満期までは1入院について360日分で保障し、それ以降は184日分の保障となります。

■ 《たすけあい》には、先進医療特約を付帯することができます。

先進医療特約	月掛金：《たすけあい》月掛金にプラス100円
	支払限度額*先進医療共済金と先進医療一時金を合算1回あたり最高1,000万円*

※新規募集を停止しているコース、告知緩やかコース・J1900円コースには付帯できません。

※先進医療については厚生労働省のホームページでご確認ください。

※先進医療とは厚生労働大臣が定める医療技術で、技術ごとに決められた適応症に対し施設基準に適合する医療機関に行われるものに限り、医療技術を受けた日において、先進医療にあてはまらない場合はお支払いできません。

※ジュニアコース、大人向けコース、告知緩やかコースに追加して個人賠償責任保険に加入できます。個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぷらす》（定期生命共済）



死亡・重度障害等万が一の備えを充実させた共済です。手頃な掛金で最高3,000万円の生命保障が得られます。必要に応じて入院特約・がんの特約を付帯でき、自分にあった保障が設計できます。また、《たすけあい》との組み合わせでさらに保障を充実させることもできます。男女・年齢別の掛金で、共済期間は10年間（掛金は変わりません）、10年後の更新時には更新時の満年齢の掛金に変わります。更新手続きをしながら、満85歳まで保障を続けることができます。

組み合わせパターンは4種類

- 1 生命保障
- 2 生命保障 + 入院特約
- 3 生命保障 + 新がん特約
- 4 生命保障 + 入院特約 + 新がん特約

満18歳～満60歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛金
満18歳～満60歳／男性・女性	10年間	加入時より10年間同じ

※満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）						
300万円	500万円	1,000万円	1,500万円	2,000万円	2,500万円	3,000万円

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ どちらか1つお選びください。

	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故（ケガ）入院* （1日目から180日分）	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 （270日以上連続した入院）	30万円	60万円
手術 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります

* 病気入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！ どちらか1つお選びください。

	がん治療共済金 100万円	がん治療共済金 200万円
がん治療共済金*1 （2年に1回を限度として何度でも）	100万円	200万円
がん入院共済金 （1日目からの支払い、日数無制限）	日額 10,000円	
がん手術共済金 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります	
がん退院共済金*2	10万円	
がん通院共済金*3	日額 5,000円	

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払い回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

満60歳～満70歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛 金
満60歳～満69歳／女性・男性	10年間	加入時より10年間同じ*
満70歳／女性・男性	15年間	加入時より15年間同じ

* 満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）	100万円	300万円	500万円
----------------	-------	-------	-------

●満60歳の方は生命保障1,000万円・1,500万円・2,000万円・2,500万円・3,000万円もお選びいただけます。

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ いずれか1つお選びください。

	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故(ケガ)入院* (1日目から180日分)	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 (270日以上連続した入院)	18万円	30万円	60万円
手術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円

* 病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！

	がん治療共済金 50万円
がん治療共済金*1 (2年に1回を限度として何度でも)	50万円
がん入院共済金 (1日目からの支払い、日数無制限)	日額 5,000円
がん手術共済金 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります
がん退院共済金*2	5万円
がん通院共済金*3	日額 2,500円

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払い回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

※2013年9月1日以前に発効した「がん特約」と本ページの「新がん特約」は異なります。

※新がん特約の「責任開始日」は、申込日から91日目、または発効日のいずれか遅い日となります。

※掛金については、CO・OP共済オフィシャルホームページをご参照ください。➡ <https://coopkyosai.coop>

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぷらす》プラチナ85



満65歳～満70歳までの方がご加入でき、入院・死亡保障を満85歳まで継続いただけます。保障内容は加入時から満期まで変わりません。また、必要に応じて手術、死亡保障を上乗せすることができます。

保 障 内 容										
基本コース 月掛金	女性2型	男性2型	女性3型	男性3型	女性4型	男性4型	女性5型	男性5型	女性1型	男性1型
	2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		1,000円	
入院したとき	3,000円	2,000円	4,500円	3,000円	6,000円	4,000円	7,500円	5,000円	1,500円	1,000円
死亡したとき	6万円	4万円	9万円	6万円	12万円	8万円	15万円	10万円	3万円	2万円
共済期間	満85歳の満期終了日まで									
新規加入できる 年齢	満65歳～満70歳								《たすけあい》 65歳満期時移行 専用コース	

※掛金の払込方法は月払のみです。 ※1名につき1契約のみ加入できます。

※1回の入院の支払限度日数は184日です。 ※重度障害共済金、長期入院共済金の保障はありません。

※解約返戻金はありません。 ※病氣入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間（契約を更改した場合を含む）通算して1,000日が限度です。

+ 次の特約を任意で付帯できます。

+ 手術サポート特約	月掛金：女性600円／男性800円
	手術1回につき一律2万円（共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）
+ 死亡保障上乗せ特約	月掛金：女性600円／男性1,300円
	基本コースの死亡保障にプラス30万円
+ 先進医療特約	月掛金：性別にかかわらず100円
	先進医療1回あたり最高1,000万円（※先進医療共済金と先進医療一時金を合わせた限度額）

※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

※特約は1名につきそれぞれ1口まで加入できます。 ※特約のみの加入はできません。

※《あいぷらす》プラチナ85に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

CO・OP共済《ずっとあい》(終身共済)



《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉と《ずっとあい》終身医療の2つの商品からなる、一生涯保障の続く共済です。「終身共済を作ってほしい。やはり、信頼できるCO・OP共済で終身保障を備えたい。」「これからずっと加入し続けたいと思うが、終身タイプのプランも作ってほしい。」などの組合員からの声に応じて誕生しました。0歳から満70歳までの方が加入でき、加入時から一生涯掛金は変わりません。

終身生命
 〈低解約返戻金型〉

一生涯の生命保障

掛金払込期間は60歳・65歳・70歳・80歳払込満了からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳～満70歳まで			満15歳～満60歳まで	満60歳～満70歳まで
コース	200万円コース	300万円コース	500万円コース	1,000万円コース	100万円コース
死亡・重度障害（病気・事故）	200万円	300万円	500万円	1,000万円	100万円

※リビングニーズ共済金があります。

終身医療

一生涯の医療保障

掛金払込期間は60歳・65歳・70歳払込満了・終身払込からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳～		満30歳～満70歳まで
	満70歳まで	満60歳まで	
コース	入院日額 5,000円コース	入院日額 10,000円コース	入院日額 3,000円コース
病気入院・事故（ケガ）入院* 1日目から180日分	日額 5,000円	日額 10,000円	日額 3,000円
手術 （共済事業規約に定める 支払対象手術を受けた場合）	手術の内容により金額が変わります 2.5・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円

※《ずっとあい》終身医療に解約返戻金はありません。

※掛金払込期間中に被共済者が重度障がい状態に該当したとき、それ以降の掛金の払い込みは免除となり、保障は一生涯続きます。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※各商品の詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

*病気入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間通算して1,000日が限度です。

CO・OP学生総合共済 (G1200コース) (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

行動範囲が大きく広がる大学生・専門学校生。予期せぬ治療費だけでなく、保護者の方が万が一の場合に学業継続に必要な費用への備えがあると安心です。

■加入できる年齢(発効日時点)／満18歳以上満34歳以下(大学生・専門学校生)

■保障の終了日／卒業予定年月の末日(最長満35歳の満期日まで)

保 障 内 容	G1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	50万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	500万円
学業復帰支援臨時費用(重度後遺障害を負って復学した場合)	共済期間(1年)につき1回 100万円
こころの早期対応保障(精神疾患の診療を受けたとき)	共済期間(1年)につき1回 10,000円

新社会人コース B1200コース (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

大学・専門学校を卒業後は、健康状態にかかわらず《学生総合共済》の加入者専用の「新社会人コース」へ継続できます。また、30歳の満期後も健康状態にかかわらずCO・OP共済《たすけあい》へ継続可能です。

■加入できる年齢(発効日時点)／満29歳まで(G1200コース等からの更新・更改専用契約) ■保障期間／満30歳の満期日まで

保 障 内 容	B1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	5万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	50万円

※CO・OP学生総合共済(地域生協からの加入のみ)に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP生命共済《新あいあい》 個人長期生命共済 (こくみん共済 coop〈全労済〉)

CO・OP生命共済
新あいあい

死亡保障(最高 疾病死亡2,000万円、災害死亡4,000万円まで)、満期金を中心とした基本契約に、入院・手術・医療保障の特約を組み合わせることで、ご自身に合った保障を設計できる共済です。5年満期更新型で5年後には満期金が戻ってきます(最高500万円まで)。更新することで、最長満80歳まで保障を継続できます。

CO・OP火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済
(こくみん共済 coop〈全労済〉)



火災、消火作業による冠水・破壊、落雷、破裂・爆発、他人の車両の飛び込み、他人の住居からの水ぬれ、突発的な第三者の直接加害行為、建物外部からの物体の落下・飛来、風水害などから、住まいと家財を保障する共済です。家財だけでも加入でき、自然災害に対する保障を確保する「自然災害共済」を付帯することもできます。

マイカー共済

自動車総合補償共済
(こくみん共済 coop〈全労済〉)

マイカー共済

安全運転を続ける優良ドライバーに優しい、最大22等級・掛金64%割引や、お子様が運転する場合に嬉しい子供特約など、各種割引制度や特約を取り揃えています。また、安心のサポート体制で突然の車のトラブルにも24時間365日対応します。

生協の組合員向け団体保険

生協では、保障に対するさまざまなニーズに対応するため、CO・OP共済のほかに各保険会社の団体保険をご案内しています。団体保険とは、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約で、団体割引を使った割安な保険料で組合員に提供しています。

個人賠償責任保険

日常生活における偶然な事故で、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりしたことなどで、法律上の賠償責任を負った場合に、1事故につき3億円を上限として保険金をお支払いします。1世帯の1人が加入すれば、ご家族全員を保障します。

※CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいづらす》プラチナ85・ゴールド80・ゴールド85、CO・OP学生総合共済(地域生協からの加入のみ)、新社会人コースに追加して加入できます。

新コープのケガ保険

入院を伴うケガ等に対して、保険金をお支払いします。すべての年齢の方がご加入できる「傷害一時金プラン」と、65歳未満の方がご加入できる「入院日額プラン」があります。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープの介護保険

ケガや病気などにより公的介護保険制度の要介護2から5の認定を受けた場合、または引受保険会社所定の要介護状態に該当した日からその日を含めて30日を超えて継続した場合に「介護一時金」をお支払いします。主な特徴は、3つの告知事項で加入しやすいこと、40歳未満の公的介護保険の対象外の年齢の方も加入できることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープの三大疾病保険

0歳（生後15日以降）から満84歳まで加入を申し込み、三大疾病（がん、急性心筋梗塞、脳卒中）のリスクに対して一時金で備えることができます。主な特徴は、2つの告知事項で加入しやすいこと、100歳まで補償が継続できることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープのお給料補償保険

ケガや病気によって長期間働くことができなくなってしまった場合に、60歳まで一定程度の収入を補償する保険です。主な特徴は、3つの告知事項で加入しやすいこと、うつ病などの精神障害による就業不能も補償されることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

学生賠償責任保険（一人暮らし特約なし・一人暮らし特約あり）

学生組合員の日常生活および実習中（正課の講義・アルバイト・インターンシップ等）における賠償事故を国内・海外を問わず保障する保険です。また、一人暮らし特約ありは水もれ等による借用住宅への賠償事故や、火災・水ぬれによる家財の損害、借用敷地内における家財や現金・自転車等の盗難にも対応します。

※大学生協の学生組合員が加入できます。

就学費用保障保険

扶養者が病気やケガで死亡した場合やケガで重度障がいを負って、学生組合員本人が扶養者に扶養されなくなった場合の授業料や教材費等の学資費用（実費）を卒業予定年まで毎年保障する保険です。

※大学生協の学生組合員が加入できます。